

令和7年度 政策推進部の運営方針

部	政策推進部	部長	小林 一裕
監	小林 一裕（総合政策監）	監	小林 聡（危機管理監）

【基本方針】

政策推進部は、市の政策をまとめ、実行するための施策に関する企画、関連部署間等の調整に加えて、市民への情報発信と広聴、職員の人事管理、防災対策などを所管しています。
 まちの将来像の実現や少子高齢化、人口減少等の課題に対して、にぎわいと活力ある市であり続けるために、公民連携の充実による民間活力の導入の推進や市内外に向けた情報発信を強化するとともに、それらを担う職員の能力向上を図ります。
 防災対策については、近年の自然災害の激甚化を踏まえ、防災・減災対策のより一層の強化に努めるとともに、地域防災の要となる消防団の組織力強化に向けた取組を進めます。

【重点目標】

1	目標	(5) みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	市政運営	令和7年度 達成状況
	シティプロモーションの強化のため広報かしわらやウェブサイト、SNSなどを活用し、市政情報および本市の魅力を市内外に発信				B
2	目標	(5) みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和7年度 達成状況
	公民連携の充実による持続可能な行財政運営の推進				A
3	目標	(5) みんなでつくる暮らし続けられるまち	分野	行財政運営	令和7年度 達成状況
	職員の能力向上				B
4	目標	(1) 安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	防災	令和7年度 達成状況
	防災対策の充実強化				C

【達成度について】

- A：達成（目標を達成することができた。100%）
- B：概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
- C：一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
- D：未達成（目標達成に向け取り組んだが、目標達成に至らなかった。50%未満）
- E：未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

部	政策推進部
---	-------

重点目標 1	シティプロモーションの強化のため広報かしわらやウェブサイト、SNSなどを活用し、市政情報および本市の魅力を市内外に発信
--------	---

今年度の達成目標
市内外に柏原市の取組や魅力発信に向けて、広報かしわらや市ウェブサイト、SNSの発信力を強化します。
今年度の達成目標
染色業を積極的に市内外に向けてPRを行い、シティプロモーションと伝統産業の活性化を図ります。

達成状況	達成度
LINEの友だち登録キャンペーンを実施した12月の登録者数は、通常毎月100件程度の増加数に対し、約1,000件の登録者数が増加しました。また、Xの閲覧回数が増えました。4月号では、通常1,000回程度が約3,000回閲覧、動画再生数700以上とこれまでで最も閲覧されました。	B 概ね達成
達成状況	達成度
手ぬぐいを利用したプロモーション活動を各課と協働で実施し、令和7年度でのべ320枚配布できました。またLINE友だち登録キャンペーンでは、10名の当選者枠に対し、228名の応募がありました。	A 達成

具体的取組	
柏原市公式LINEによる情報発信力を強化するため、関係部局との連携を今までよりさらに密にすることで、内容の充実を図ります。また、全ての市民がウェブサイトの情報を活用できるようウェブアクセシビリティの向上を図ります。	
所管室・課	秘書広報課
具体的取組	
柏原市の伝統産業である染色業で用いられている注染と捺染の技法を用いて手拭いを作成し、市外から訪れた関係者などへの配布や、プレゼントキャンペーンを通じ本市の魅力の発信と公式SNSの登録者増加を目指します。	
所管室・課	秘書広報課

具体的な取組実績	
柏原市公式LINEの登録者を増やす取組として、12月に実施した「かしわらミニ万博」において、公式LINE友だち登録者先着600名にヨルダンの死海の塩のプレゼントキャンペーンを実施しました。また、Xによる「広報かしわら配布告知」配信をこれまでの静止画を動画に変更し、伝える工夫を行いました。	
具体的な取組実績	
市の特産品であるぶどうと亀の瀬のイメージをあしらったオリジナルの注染手ぬぐい320枚、市の花つつじをモチーフとした捺染ミニ手ぬぐい200枚を作成しました。また、LINEの登録者に手ぬぐいの当たるキャンペーンを実施し、LINE登録者増加に努めました。	

総合評価・総括
本市の魅力発信については、大阪・関西万博の大阪ウィークに参画し、現地からの生配信や動画撮影ならびにPR、アフター万博イベントにキャンペーンを実施するなどのプロモーション活動を実施しました。SNSについては市政情報やイベント告知、市の魅力発信について、効果的に取り組むことが出来ました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
市の開庁時間の変更に伴い、AIチャットボットのスムーズな導入やLINEでの申請ができる手続きの増加など、関係各課と連携して市民の利便性の確保を目指してまいります。

部	政策推進部
---	-------

重点目標 2	公民連携の充実による持続可能な行財政運営の推進
--------	-------------------------

今年度の達成目標
行政課題の解決や市の活力向上、持続可能な行財政運営の推進に向け、民間事業者や大学との連携を強化します。

達成状況	達成度
公民連携デスクの設置や大学との地域共創プラットフォームの構築など、産学官連携の新たな取組を進めることで、持続可能な行財政運営の推進に向けた連携強化を図ることができました。	A 達成

具体的取組
行政が抱える政策課題と、大学側から提案される研究課題や地域貢献の機会をマッチングし、多岐にわたる連携を円滑に進めます。

具体的な取組実績
大阪教育大学の前期授業に参画し、学生による市の課題解決に向けた企画・立案等を受けることができたほか、新たに関西福祉科学大学と政策接続型の連携授業を実施するなど、円滑な連携を促進する取組を進めました。また、産学官による新たな取組として、市と関西福祉科学大学の地域共創プラットフォームの構築に向けた協議を進めました。

所管室・課	企画調整課
-------	-------

具体的な取組実績

具体的取組
効率的で効果的な行政サービスの提供が行えるよう、民間事業者などからの相談・提案を積極的に受け、行政と民間の対話を充実させることで公民連携による事業構築を図ります。また、組織的に連携が進められるよう、庁内各部局への調整を行います。

具体的な取組実績
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と包括連携協定を締結し、市民参加型交通安全イベント「SAFE TOWN DRIVE 南河内」を開催しました。組織的な連携の推進については、公民連携デスクを設置し、民間事業者などからの提案や相談を広く受け付ける体制を整備しました。

所管室・課	企画調整課
-------	-------

総合評価・総括
公民連携に関する相談・提案窓口を一元化することで、迅速かつ円滑な連携を可能とする基盤整備を図りました。また、庁内での横断的な連携を通じ、産学官による新たな事業構築に向けた具体的な進展が見られるなど、連携強化の取組を前進させることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
公民連携デスクの活用や産学官の共創プラットフォームの推進について、その手法と内容の充実を検討しながら連携の機会を拡大し、持続可能な行財政運営の実現を目指すとともに市民サービスのさらなる向上を図ってまいります。

部	政策推進部
---	-------

重点目標 3	職員の能力向上
--------	---------

今年度の達成目標
質の高い市民サービスを提供できるよう、職員一人ひとりの能力向上を図ります。

達成状況	達成度
法律研修や階層ごとの研修などを継続して実施し、職員一人ひとりの能力向上を図ることができました。	B 概ね達成



具体的取組	
階層ごとに必要な知識習得や能力向上のための研修や在職年数に応じた法律知識を習得するための研修などを継続して実施します。	
所管室・課	人事課

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 法律研修を在庁年数に応じて初級・中級・上級の3区分で実施しました。 ・ 弁護士資格を有する職員を講師として実務に活かせる内容をテーマとした法律研修を実施しました。 ・ 階層ごとに求められる能力向上を目的とした研修を実施しました。



総合評価・総括
研修を通じて、市政運営にあたって職員の必要な知識の習得や能力の向上に資することができました。

全体の達成度
B 概ね達成

今後検討すべきこと
法律研修や階層別研修については、今後も継続して実施できるよう改善を重ねていきます。また、職員が自ら考え行動できる人材を育成するための研修等の実施を検討してまいります。

部	政策推進部
---	-------

重点目標 4	防災対策の充実強化
---------------	------------------

今年度の達成目標
大規模災害時に誰もが安心して避難ができる環境の確保に向け、避難生活に必要な防災備蓄の充実や福祉避難所の拡充に努めます。



達成状況	達成度
避難所環境の充実に向け、マンホールトイレ事業の本格導入を決定、次年度以降の整備計画を策定しました。また、福祉避難所の充実については、令和8年5月にオープンする市民交流センターを新たに指定福祉避難所として指定しました。	B <small>概ね達成</small>

今年度の達成目標
地域防災の中核を担う消防団の組織力強化に向け、団員数の確保と技能育成に取り組むとともに装備の充実等活動環境の充実を図ります。



達成状況	達成度
団員数の安定確保には至っていないものの、新たな訓練や啓発活動の実施により、組織力の強化を図ることができ、また、水防活動用雨衣を更新し、装備の充実を図りました。	B <small>概ね達成</small>



具体的取組
良好な避難所環境を確保するために、衛生関係備蓄物資の充実を図るほか、避難所運営面においては、担当職員の対応力向上に向けた研修の実施、また、福祉避難所に特化したマニュアル作成に着手します。



具体的な取組実績
避難所環境の充実に向けては、特に、トイレ環境の充実を目指し、庁内組織横断的にマンホールトイレの導入検討に着手しました。また、避難所担当職員の対応力向上に関しては、説明会の開催やHUG訓練を実施し、スキルアップの取組を推進しました。

所管室・課	危機管理課
具体的取組	
消防団の組織力強化に向けて、これまでの活動に加え、本市の地理的特性に鑑み、山林火災対応に向けた訓練や研修の実施に取り組むとともに減少傾向にある団員数については、定数確保を目指し、あらゆる場面で入団促進のための啓発事業を展開します。	
所管室・課	危機管理課



具体的な取組実績
震災や大規模火災による孤立集落の発生を想定した救出救助訓練を自衛隊、消防組合と合同で実施するほか、市民総合フェスティバル等の機会を通じて入団促進と消防団への理解を深める啓発活動を行いました。

総合評価・総括
能登半島地震の教訓から、良好な避難所環境の充実が求められている中であって、本市においても、備蓄品目の見直しや数量の精査を行っているところです。特に、令和7年度には、関係各課との協働によりトイレ環境等衛生面の充実のに向けた整備方針を明確にするほか、公共施設の再編による、市内避難所施設の統合、集約に関しては、ハザードマップの更新に併せて市民周知を図り理解を求めました。

全体の達成度
C <small>一部達成</small>

今後検討すべきこと
災害関連死を発生させないための取組を推進するべく、福祉避難所をはじめとした避難所の運用強化を図るとともに、地域防災力の中核を担う消防団員の安定確保に向けては、処遇改善等の抜本的な制度見直しも必要と考えます。